LIGHTNING RETURNS FFXIII
Hope*Lightning
CassiS RIOKO

R18

You Know You Know Me

LIGHTNING RETURNS FFXIII
Hope*Lightning
CassiS RIOKO

R18

You Know You Know Me

ーふう
こんなもんか
もう
こんな時間か
悪いな
付き合わせて
23:13
大丈夫ですよ
無事明日の
買出しリストも
まとまりましたし
今日はもう休みましょう
…お前は
どうするんだ
それじゃあ
ライトさんは
僕のベットを
使ってください

僕はソファーで適当に寝ます

ガチャ

ガバッ

駄目だお前はベットでちゃんと休め

私がソファーで休む

女性にそんな事させるわけにはいきませんよ

だが…！

っっ

くるっ

…でしたら…一緒に寝ませんか？

なんちゃって～

…っ！

かぁ～

いい、なら…

ー…お前が

…決まりですね

12
6

フニフニ

さっきも気にしてたな

壊れたのか？

ばさっ

みたいですね

…どうぞ

ぽん

ぽん

…っ

ムッ

あはは

もそ

もそ

緊張してるんですか

ムイッ

そういうお前はどうなんだ

ドキッ

してますよ

すごく

ドキドキしてます

―私もだ

ちゅ

きっとライトさんにも聞こえてるんじゃないかと思う

ちゅ

ん…っ

恥かしさで体が熱くなる

んぅ…っ

ちゅ

それでも離すことはできなくて

…っ

はっ

はっ

ちゅく

くちゅ

ん…んん…っ

全てが愛おしいと
触れていたいと
心が言う

はっ

はっ

はっ

はっ

もっと感じたいと
欲望が溢れ出す

はっ

…ライトさん

続き…してもいいですか

はっ

はっ

…ああ…
私も、したい…

ちゅ

ぢゅ

んっ

ぢゅくん

ぢゅくっ

っ

ミシ

はっ

はっ

はっ

ミシ

ライトさん
もしかして…
ハジメテ、
ですか

ん

ん

分ぁっ

…だったら、なんだ

ぴく

あ、いえ…
そうだったら男として嬉しいなって思いまして
…お前は手馴れているな？
そんな事ないですよ
ぎゅっ
ドキ
ドキ
ドキ

こんなにも安心するなんて

ーっ

んんっ…

…馬鹿、言うな

ん？

そんな、恥ずかしいこと…

？

くぃ

くぃ

声、我慢しなくていいのに

？

ぴくん

僕しか聞いてないですから

ちゅ

ばか…っ

ちゅ

ちゅ

はっ

お前に…聞かれたくないのに

はっ

はっ

ぴく

ぴく

余裕なんてっ

あ…

知ってます
こんな近くに
いるんですから

あっ

くち

はっ

はっ

…そんな余裕
なくしてあげますから

な…

ぴく

そこはっ

ちゅ

や

あっ

ぴく

あっ

んっ

ぴく

ぴく

ぴく

や

濡れて…
感じて
くれてる

あっ

ぐちゅ

ぐちゅ

トロッ

ん

んんっ

んん…っ

余裕が無いのは
僕も同じ

はっ

はっ

はっ

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

それっ

だめ、だっ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぴく

ぴくん

ぐちゅ

ぐぷ

ろぁ

あ

ぎゅっ

じゅぽっ

や

おかしくな

どうぞ

ぴくん

ぐちゅ

ぐちゅ

ぴく

ぴくん

ぐちゅ

ぐちゅ

ぴく

ぴくん

ぐちゅ

ぐちゅ

ぴく

ぐくっ

もう諦めた事だと思っていたのに

見返り求めていないなんて

一方通行で構わない

しさっ

はっ

はっ

はっ

はっ

…挿れますよ

あ

ああ…

はっ

はっ

ライトさん力を抜いて

ズズ

…っむり

いうな…っ

はーっ

ずぶぶぶ

いっ…

びくんっ

っキツッ…

…っ

ふーー

ふーー

――でしたら

もっと僕を
感じて下さい

ん…っ

ぎゅ

ちゅく

ちゅく

ズプ

傷をつけて

己の独占欲に
まみれてしまう

ずぷ
ぷんっ

んあっ

声も姿も何もかも
独り占めに
したくて

はーー

はー

はー

もう、
手放せない

……

大丈夫ですか

ん…

まだ少し痛むが
…大丈夫だ

それより…

ナカで、
お前を感じる

…僕も、
あなたを感じます

ライトさんのナカ、
凄く熱いです

――っ

言うな、ばか！

止める事の
できない欲望

…もう…
大丈夫、だ…

ちゅ

あ…

ぴくん

辛かったら
言って下さい

アッ

アッ

深く

ぴくん

ふかく

はっ

ぴくん

ぴくん

――っ
あんまりっ
締め付けないで
下さい

…すぐ
いっちゃいます…

すちゃ

そんな事…
言われたって…っ

ぴくっ

あっ

ぴくっ

ぴくっ

んあぁ

2人だけの
秘密

ぴくん

あっ

ぴくっ

自分の声じゃ
無いみたいだ…

すちゃ

すちゃ

ここが良いんですね

やあっ

ぎゅくん

ぎゅくんっ

んあっ

ちゅ

はっ

はっ

ぺろぺろ

ぎゅくん

ぎゅっ

ぎゅっ

ぎゅっ

や
あっ
ん
僕しか知らないあなたを
あなたしか知らない僕と
はっ
はっ
はっ
はっ
ライトさっ
やっ
あっ
ダメっ
ダメっ
ダメっ
ダメっ

んあぁ〜っ

ぴちゃ

刻み付ける

ぴちゃ

はーっ

はーっ

ギシ、
ﾆﾆﾆ

ｶﾊｯ

ん…

…ホープ…？

おくっ

おはようございます

起こしちゃいました？

いや、大丈夫だ…

うと

うと

あ、そうだ

ちょっとお願いがあるんですけど

…これ結んでもらえます？

片手じゃ難しくて

換えの時計じゃ駄目なのか？

気分転換です

何もつけないのも落ち着かないですし昔のを出してきたんです

…ええ

…いいのか？

きゅっ

昔は
つけてたんだな

…

はい

…やっぱり
この方が
落ち着きます

…これからは…

…離れたくても
離れられないぞ

…とんでもない

もう
離しませんよ

仲間への想いも

この、想いも

良い度胸だ
後悔するなよ

ライトさんこそ

ん

END

こんにちは、りおこです。
本をお手に取っていただきありがとうございます。

今回のテーマは余裕の無い愛のあるエッチでした。
とにかく2人のラブラブが描きたくて仕方なかったんです。
同時に出したもう一冊にイチャイチャ分がない反動でしょう…とても楽しかったです。
久しぶりのエロで色々前のと被ってる気もしますがお許し下さい。
何度だって描きたいんだ…また描くんだ…ﾍﾍﾍ…

それと最後のホープが腕にスカーフを巻いていない理由を描きたかったんです。
僕は過去(仲間への思い)を断ち切る！ﾊﾟﾘｰﾝ　の表現としてあえてスカーフは封印してて、
でも何もつけないのも寂しいので時計をしてたとそんな設定で描いてました。
ライトさんと再会する事によって仲間への思いを再確認した、という感じです。
たぶん。もう記憶が曖昧です。ﾋｰ。

ではでは、少しでも楽しんでもらえたなら嬉しいです。
また別の本でお会いできましたら幸いです。

CassiS｜りおこ

http://rioko.bambina.jp/
ami.sline@gmail.com
CassiS
20140815 // RIOKO

Print by 緑陽社様

無断転載、複製、ネット上へのアップロード、
オークションへの出品は固く禁じます。